

5月16日「JR東労組上野駅分会の弱体化を狙った分会長に対する強制転勤の撤回と、
東地申 上野駅分会長に対する差別および不利益扱いの根絶を求める緊急申し入れ」交渉を行う！
第64号

交渉冒頭、地本の主張を述べる！

～その1～

JR東労組組織の弱体ということで団体交渉を申し入れた。この間の事実関係はしっかり把握しているので明らかにしていくが、営業担当が団体交渉に参加していない。誠意ある回答を求めていく。

会社として責任を持って回答することを確認して交渉に入りました！

1. 上野駅分会長の新松戸駅への強制転勤の白紙・撤回をすること。

【会社回答】異動については、就業規則に則り取り扱うこととなる。

2. これまでの、上野駅分会や上野駅分会長に対する差別を明らかにし、JR東労組弱体化をさせる不利益な取り扱いを止め、直ちに分会に謝罪をすること。

【会社回答】会社として、不利益な扱いを行った事実はない。

回答に変わりはないことを確認したため、第1項は対立！

議論経過【項目をまとめて議論しました】

出改札のバスツアーについて

組合が把握している事実	会社の回答
9月の中旬に「11月上旬に日帰りか泊まりのレクがあると言われた。A助役には「日帰りなら参加可能」「予定が合えば参加できる」と伝えた。しかし、A助役からは「バスの手配をしているから決まらないので、日程は分からない」と言われた。	9月上旬、出改札の親睦を深めるためにバスツアーを企画した。幹事を選出した中で出改札の全社員に声をかけた。その中で、宮澤社員は不参加を表明した。9月の中旬に締め切ったが、その時点で、宮澤社員からの参加の有無は無かった。 9月下旬に締め切った後に「参加したい」と言われたので、「定員なので」と断った。
9月下旬に「日帰りバスでもういっぱいなので、パスをしてくれ。別に差別しているわけではない。宮澤に言うとおかないとむくれるだろう」と言われた。	9月下旬に「都合が合えば参加をする」と言われたが、満員だった。JRのツアーではないので旅行会社に問い合わせをしたが、満席だった。 「差別していないから」の発言は、把握していない。
全社員には聞いていない。知らない社員もいた。	全社員に出欠する確認を取るまで声掛けをしたと聞いている。
企画したA助役からも幹事からも誘われていない。	会社として把握しているのは説明したとおりであり、 現段階では答えられない。
宮澤分会長本人は断っていない。	誰が断ったと聞いたのか把握していない。 最初の段階で断ったと聞いている。

「把握していない」「答えられない」と終始無責任な回答！

～その2へ続く～